

2023年度 第3回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 承認日

2023年6月5日(月)

2 開催方法

WEB 会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、常盤委員、東委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、柳澤委員
オブザーバー参加:延原情報センター所長、田口地域産学連携センター所長

4 事務局

福田副局長、高柳調整幹兼総務担当部長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、関根研究・地域産学連携担当部長、山口企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【審議事項】

(1)令和4年度業務実績報告書(案)の提出について

資料に基づき福田副局長から説明がなされ、案のとおり承認された。

(2)学長選考会議委員の選出について

星学長から、田中委員・國澤委員・廣渡委員の3名から立候補があったと説明がなされ、学長選考会議委員に当該3名を選出することと承認された。

【報告事項】

(1)2022年度卒業生の就職・進学状況について

資料に基づき、常盤学生支援センター長から報告された。

(2)業績評価指標の推移について

資料に基づき、伊藤副学長から報告された。

○ 若手の科研費採択率が高いとのことだが、若手とはどの程度の年齢までを指すのか。ま

た、査読付き論文件数は英語と日本語どちらの割合が多いか。

⇒ 助教・大学院研究員・特別研究員などが採択されている。

⇒ 査読付き論文については、現在、英語・日本語で分けて集計していない。

⇒ 国際誌への掲載件数も上がってきているので、内部でしっかりと見て、本学教員の研究が国際貢献していると認識できるようにしたい。

○ 退学率・休学率について、理由や時期等について分析しているところであるが、理由は個人ごとに様々であり傾向は掴みづらいかもしれない。しかしながら人数は増加傾向にあるため、今後の取り組みの検討も併せて行っているところである。

○ 特に教育・研究・社会貢献活動においては、各学科・専攻の詳細な状況を見て、分析いただきたい。